

見て ぼくたちの学級日誌 web で保護者へ公開 導入・奮闘編

気高町立浜村小学校 山脇 健司

jn4eof@ncn-k.net



今まで「文章表現力」「言語事項」の力をつけるため毎日日記を書かせ、せっせと赤ペンで指導をしてきた。しかし、表現力の個人差は大きく、思うように高まらなかった。それどころか、毎日の日記を書く内容を困っている子が多かった。

この問題をなんとかできないか悩んだ2学期。子ども達の様子から、伝える相手明確にすることとなぜ日記を書くか目的意識が大切だと考えた。そんな時、連絡帳に、ある保護者から、「もっと学校の様子を知りたい。情報がほしい。」というメッセージが届いた。そこで、HP や携帯電話を活用して、学校の様子を学級日誌で発信してみても考えた。

3学期、学校での様子がわかりやすいを書くため、子ども達と web 学級日誌を活用し取り組んできた。

1月～2月中旬 導入期

子どもたちをやる気を持たせる。

- ・学級日誌グループ
名前の記入を義務付ける
子ども達の成長がわかるように
保護者は我が子を探してみる習性がある。
web 学級日誌コンテスト
よいものを共有する

子ども達の様子から

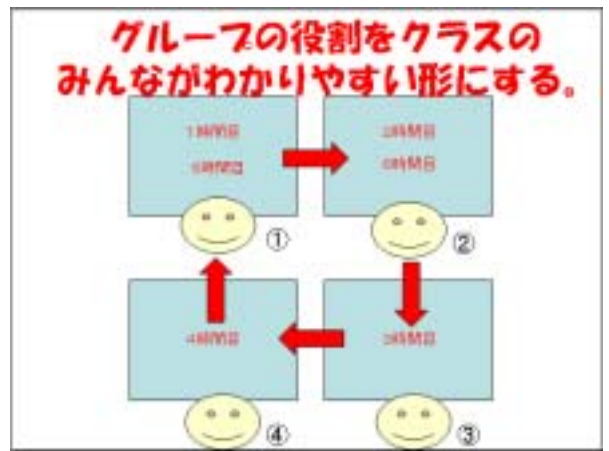
- ・入力に時間がかかる。
なにを書いてよいかわからない。
携帯電話を活用する。
- ・誤字脱字が多い。
子ども達で毎日日記チェック
- ・文末表現がバラバラ
敬体と常体が理解できていない。



グループで声を掛け合う。



週1回 web 学級日誌コンテスト



クラスのルール作り 子ども達の役割

2月中旬～3月下旬 奮闘期

保護者からの感想の中で、

「内容がよくわからない・・・。なにを伝えようとしているかわからない。」

自分たちを振り返る。「学級日誌クイズ」

自分たち書いた日誌の内容をクイズにしてみんなで考える。

「今日はテストをした。思ったよりかんたんだった。」

自分たちの書いたものがわからない。

内容を高めるための手立て

文章を2文にして考える。

説明の文と結果の文を接続詞でつなぐように指導。

web 学級日誌専用用紙を活用して、個人指導をする。

要約する力・推敲する力・漢字を活用する。

「どのように」「漢字を使って書こう。」説明・思い・結果の内容で書かせる。

保護者の反応。(文集として返す。)

保護者からの反応。子ども達の文章がわかりやすくなった。

保護者からのメッセージが次の子ども達の意欲へつながる。



web 学級日誌専用用紙



子どもたちのよろこび